



問合せ先

第二管区海上保安本部 海洋情報部

海洋調査課長 森 弘和

電話 022-363-0111 (内線 2530)

平成 27 年 5 月 18 日

第二管区海上保安本部

午前 10 時 発表

江名港、中之作港を測量船「天洋」により水深測量します

福島県では相馬港、小名浜港、四倉港、久之浜港に続いての実施です。今回の水深測量により震災後に実施していた福島県の港湾での水深測量が全て終了します。

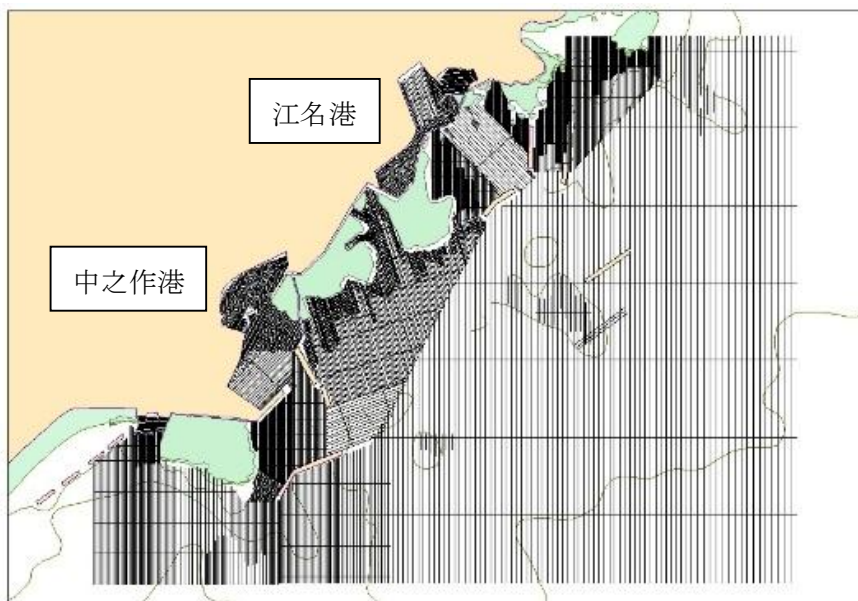
第二管区海上保安本部では、被災した港湾の早期復旧のため計画的に水深測量を行っています。

今回は5月21日から6月7日までの間、測量船「天洋」(船長伊藤孝)により江名港及び中之作港の水深測量を実施します。

福島県では、相馬港(平成24年12月終了)、小名浜港(平成26年3月終了)、四倉港、久之浜港(ともに平成26年11月終了)に続き実施するもので、今回の水深測量で福島県内の作業は全て終了となります。

管内の震災対応の水深測量としては、平成26年度末までに16海域を終了しており、今年度末までに管内21海域全ての水深測量を終了する予定です。

水深測量実施予定区域・計画測線図



測量船は、雑巾掛けをするように計画した測線を往復します。

左の図の黒い実線は、今回の水路測量の計画した測線で、水深によって間隔を変えて測量しています。

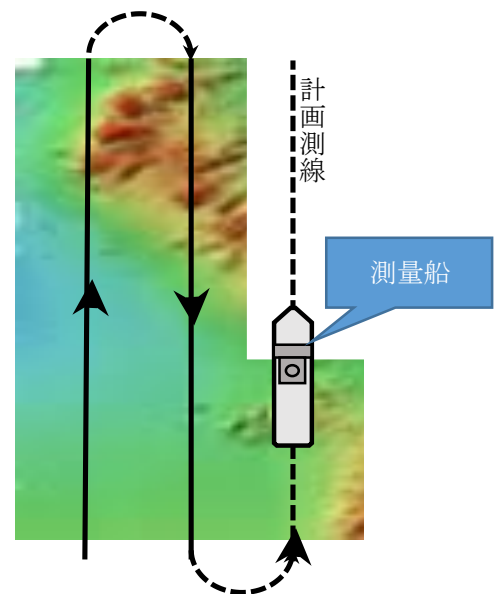
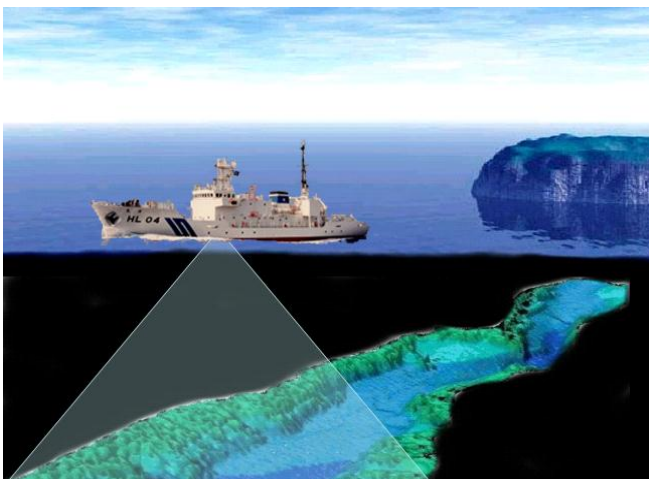
測量船「天洋」の概要



塩釜航路航行中の天洋

- ・ 総トン数 430 トン
- ・ 主要寸法 56.0×9.8×5.0m
(全長×巾×深さ)
- ・ 主要観測機器 マルチビーム測深機
投下式水深水温計
超音波流速計

水深測量の概要



測量船から海底に向けて広角に音波を出し、音波の往復時間と水中での音の速度から水深を計測します。

船の航跡に沿って水深の約3倍以上の幅で海底地形を明らかにすることができます。

被災港湾の水路測量

